

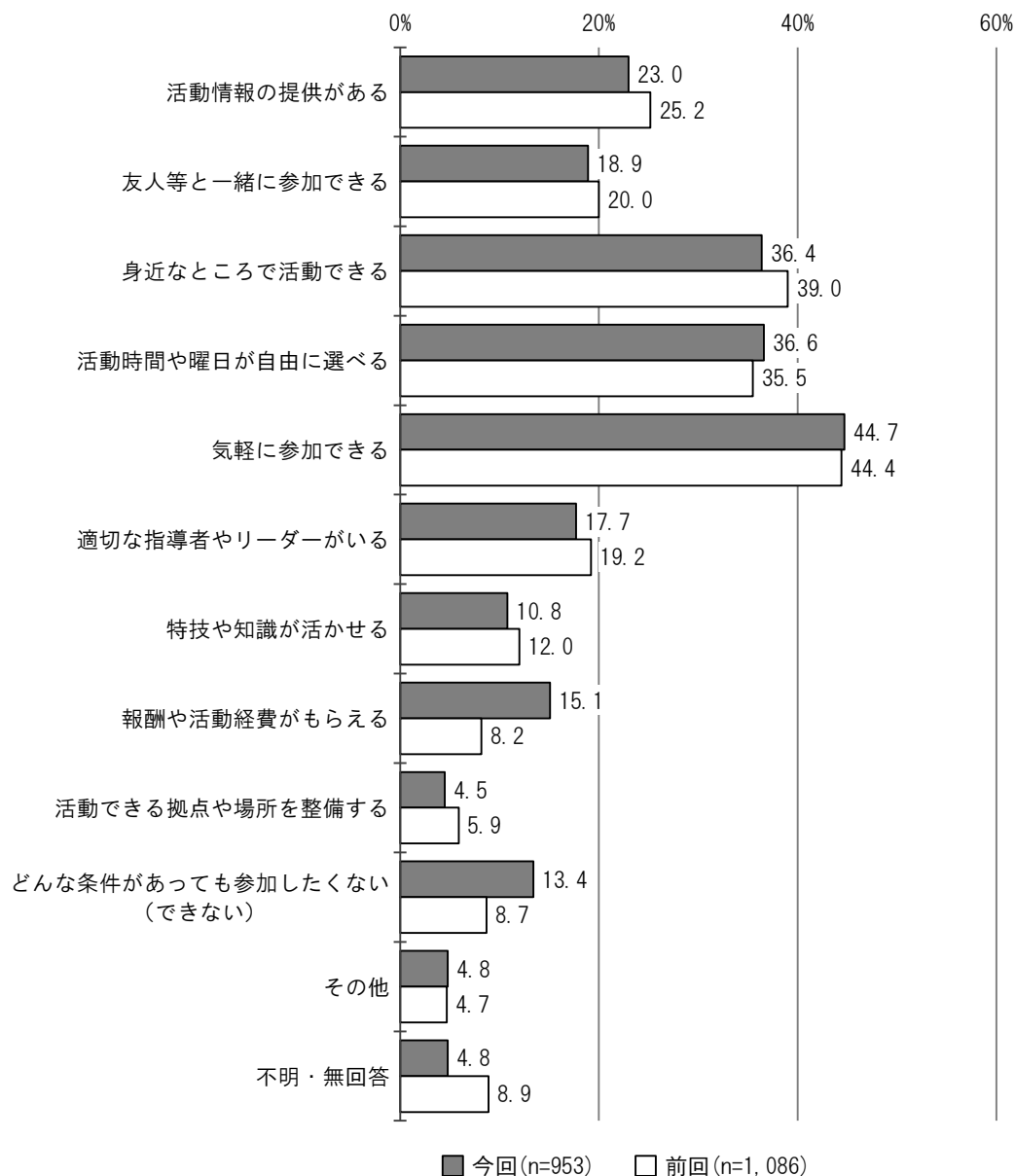
目標2 支え合いのネットワークを育てる

現状と課題

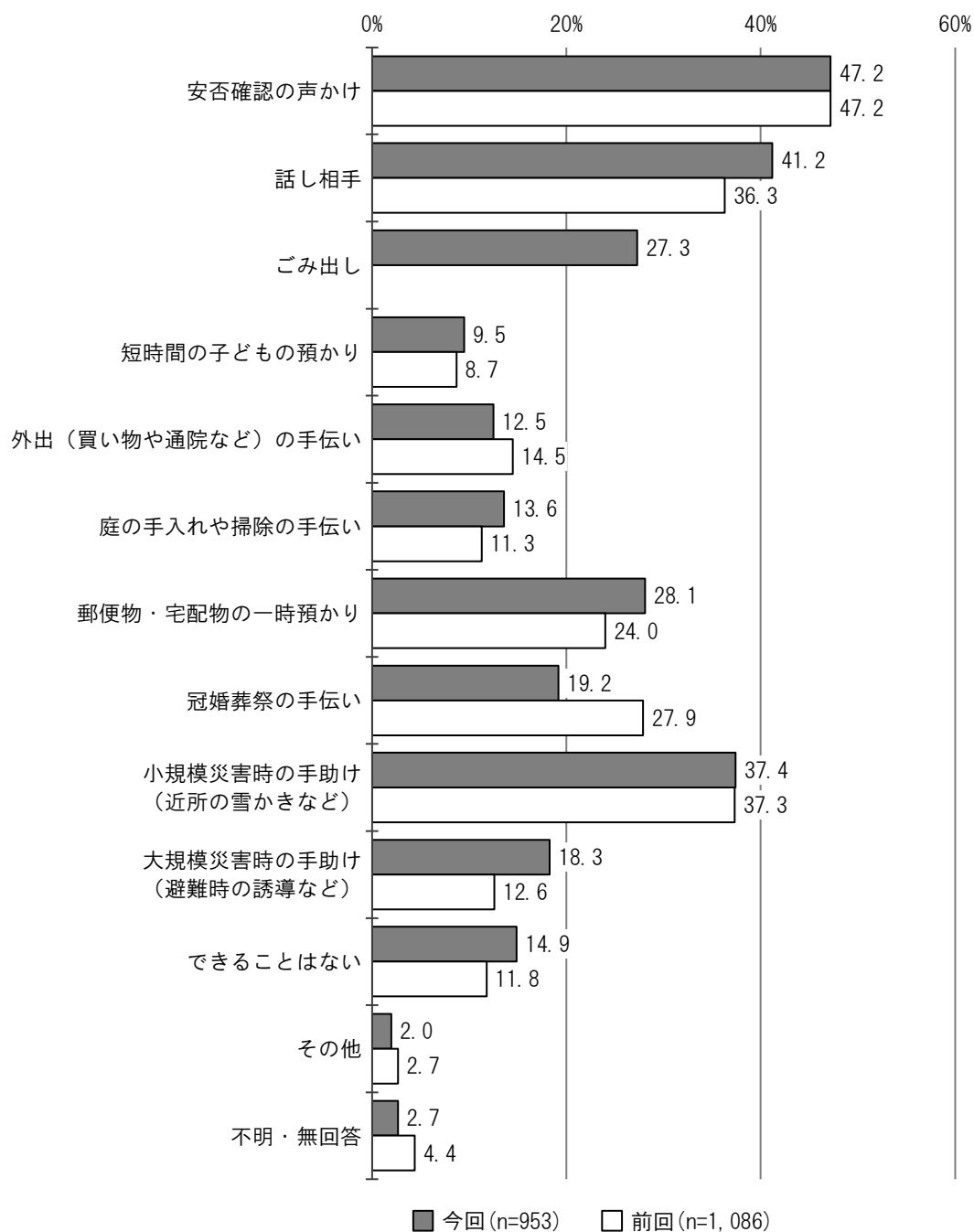
地域の抱える課題が多様化する中で、住民同士の見守りや支え合い、助け合いの活動が重要となっています。地域活動・ボランティア活動に参加するための条件として、「気軽に参加できる」、「活動時間や曜日が自由に選べる」等が挙げられており、地域の人に頼まれた場合にしてあげられることとして「安否確認の声かけ」や「話し相手」、「小規模災害時の手助け（近所の雪かきなど）」が挙げられています。ちょっとしたことなら手伝えると感じている市民が、実際に活動するためのきっかけづくりが必要です。

また、地域における支え合いの推進には、ボランティア・市民活動団体等との連携が不可欠です。団体活動においては人材育成が課題となっており、活動のPRや情報提供等、担い手育成に向けた支援を行う必要があります。

■地域活動・ボランティア活動への参加条件 市民アンケート

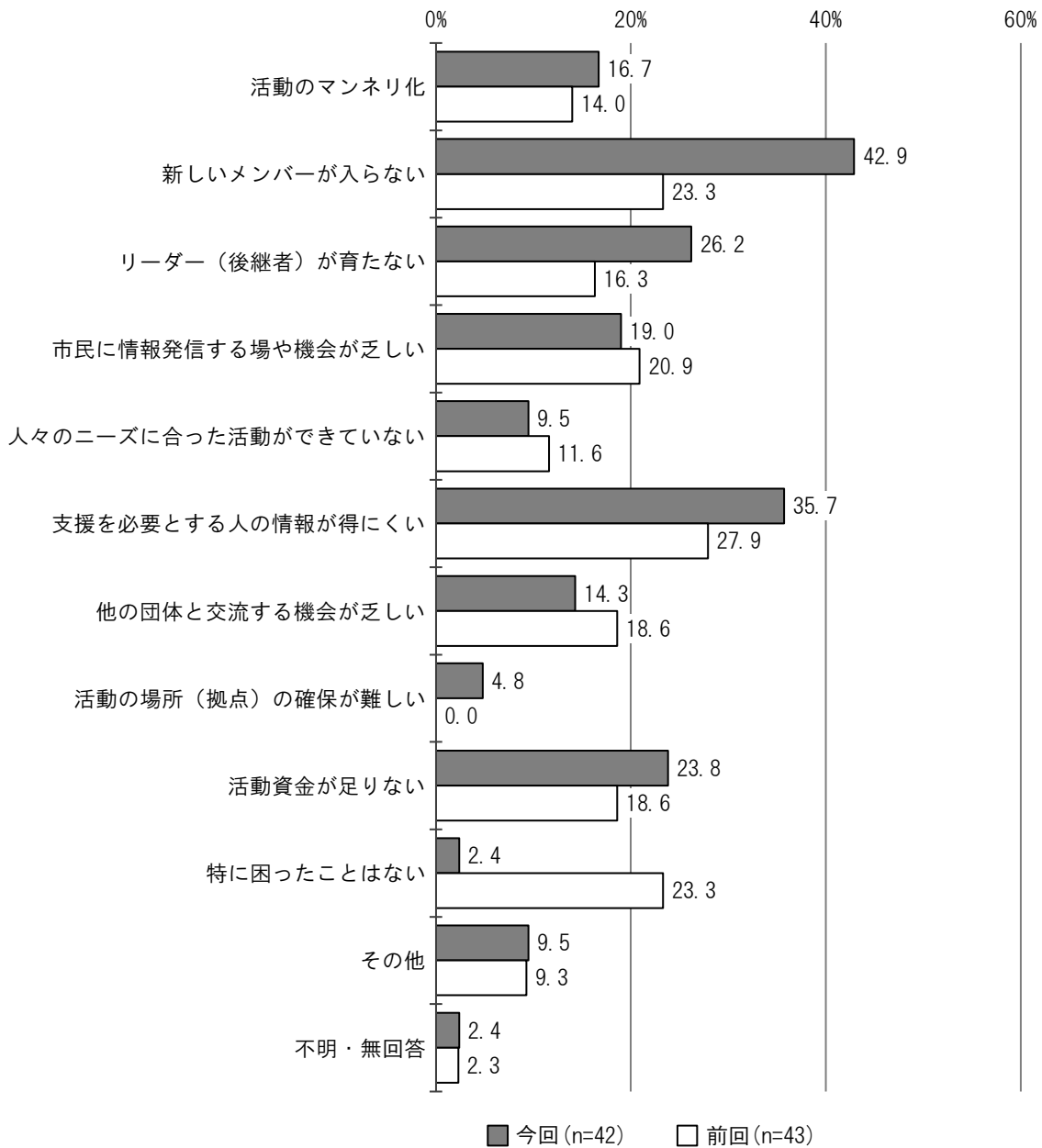


■地域の人から頼まれた場合、自分からしてあげられること 市民アンケート

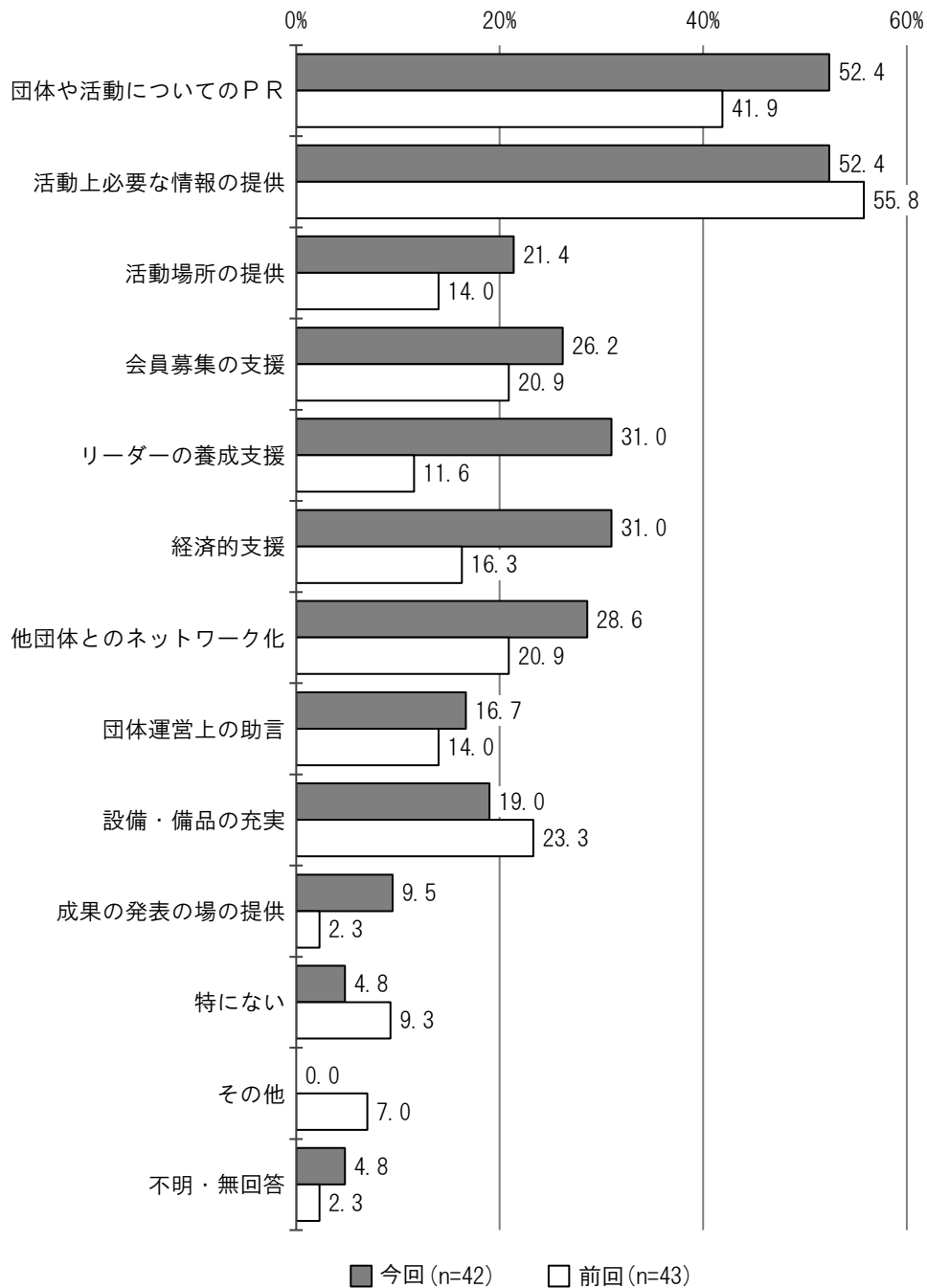


※ 今回調査のみの選択肢：「ごみ出し」

■団体の活動上の課題 団体アンケート



■団体が市や社協に望むこと 団体アンケート



■団体ヒアリングより

- 住民の活動に補助が出る仕組みを導入して、おせっかいな人が市のバックアップの下で活躍できるようになってほしいと思っている。
- 活動者同士の横のつながりがないため、いろいろな方の協力を得ながら場所づくりなどをしていく方が、活動を広げていけると思う。ネットワークのようなものがあれば良いと思う。

施策の方向性（１）ボランティア活動等に気軽に参加・活動するための支援

取り組みの方向性

こどもから大人まで誰もが気軽にボランティアへ参加できるための体験プログラムの実施、地域福祉に関する講演会や講座等を開催し、地域で共に支え合うことの大切さを広めます。

また、住民相互の助け合いのしくみである子育て援助活動や家事援助サービスなどを通じて、地域の支え合い活動を推進します。

目指す地域の姿



数値目標

地域活動やボランティア活動に参加したことがある割合

「過去5年間に地域活動やボランティア活動をしたことがある」と答えた市民の割合。（本計画策定のための市民アンケートより）

49.9%

現状値

（令和6(2024)年度）



56.9%

目標値

（令和13(2031)年度）

※地域活動やボランティア活動に参加する人が増え、市民の地域福祉に関する行動が広がることで、支え合いや助け合いの意識向上が期待されることから、年1%の増加を見込み目標とします。

実現するための取り組み

取り組み①

支え合い、助け合いの意識を育み、やりがいを感じる機会を創出します

【ボランティア・市民活動を広めるための広報や啓発】

ボランティアのきっかけづくりとして、こどもから大人まで、誰もが気軽に参加できるボランティア体験プログラム*用語を実施しています。

また、こどもたちの福祉の心を育むため、小・中学校と社会福祉施設の交流機会を設けています。

【担当】社会福祉協議会

令和7年度 彩の国 ボランティア 体験プログラム in 深谷

きみはなに界限

深谷の夏ボラは楽しいって伝えなきゃ

深谷市ボランティアセンターでは、福祉施設や地域のかたがだにご協力いただきながら、「彩の国ボランティア体験プログラム」を実施します。

ボランティア活動ははじめの一歩を踏み出すみんなを応援しています。

みんなに伝えなきゃ

彩の国ボランティア体験プログラム 体験講座

№	講座名	対象	会場	内容	服装 持ち物	日時	定員
1	手話体験ボランティア	小学生～ 中学生	深谷市ボランティア 交流センター(本館前12-8)	手話の先生、耳の聞こえないかたに手話で自分の気持ちや思いをつづき、交流しよう	動きやすい服装 水筒・汗拭きタオル	7月22日(火) 10:00～11:00	15人
2	藍の生染め体験ボランティア	どなたでも	深谷市ボランティア 交流センター(本館前12-8)	染め液と一緒に藍の葉を添えてマスクや布などに生染めの作品を作り、制作の勉強や寄付しよう	動きやすい服装 水筒・汗拭きタオル	7月23日(水) 10:00～11:30	30人
3	座禅体験&お寺ボランティア	小学生～ 中学生	福徳院寺 (船場町北9-25)	座禅を通して、自然を感じる心がけや生活の心を整えて、お寺の清掃や交流しよう	動きやすい服装 水筒・汗拭きタオル	7月25日(金) 10:00～11:30	20人
4	おいしいコーヒーの淹れ方体験ボランティア	中学生～ 大学生	スターバックスコーヒー 深谷駅前本店(国沢寺26-5)	スターバックスコーヒーの淹れ方からおいしいコーヒーの淹れ方を教えて、高齢者へ提供してみよう	動きやすい服装 汗拭きタオル、 水筒・汗拭きタオル	7月31日(木) 10:00～12:00	5人
5	四面卓球バレー体験ボランティア	どなたでも	川本公民館 (菅沼401)	なれなれ楽しいゆるめ球王戦優勝の「四面卓球バレー」や、障がい者スポーツを体験しよう	動きやすい服装 汗拭きタオル、 水筒・汗拭きタオル	8月2日(土) 10:00～12:00	32人
6	ハンドマッサージ体験&高齢者ふれあい体験ボランティア	小学5年生～ 中学生	特別養護老人ホーム あかつき(東方2737-1)	ボランティアで深谷店のかたからハンドマッサージの方法を教わって、高齢者へ実践してみよう	動きやすい服装 汗拭きタオル、水筒 ・うす引き、マスク	8月7日(水) 10:00～11:30	10人
7	ふっかつ体験ボランティア	小学生以上	深谷市ボランティア 交流センター(本館前12-8)	高齢者が楽しく体験している「ふっかつ体験」を一緒に体験、体験後は高齢者センターで交流しよう	動きやすい服装 水筒・汗拭きタオル	8月19日(火) 9:30～12:00	20人
8	赤ちゃん食堂体験ボランティア	高校生以上	深谷公民館(仲町20-2)	埼玉中で難関に闘った赤ちゃん食堂で、赤ちゃんと交流しよう	動きやすい服装 汗拭きタオル、 エプロン・水筒	8月20日(水) 10:30～13:00	3人
9	ガイドヘルプ体験ボランティア	どなたでも	深谷市ボランティア 交流センター(本館前12-8)	目の不自由な方のお話をアヤマク体験(コイン投げゲーム)などしよう	動きやすい服装 水筒・汗拭きタオル	8月21日(木) 10:00～12:00	20人

【深谷市社会福祉大会】

自治会長や民生委員・児童委員をはじめ、社会福祉施設、ボランティア団体、教育機関等が集い、功労のあった方々の表彰や、講演会等の機会として社会福祉大会を実施しています。

【担当】社会福祉協議会

紹介する取り組み

【地域支え合いマップ作成】

地域の見守り活動を推進するため、まごころ出張講座を実施しています。

見守り活動を無理せず長く続けてもらうためのポイント等の説明を行った後に、地域の皆さんで「地域支え合いマップ」を作成します。

【担当】福祉政策課



【買い物支援サービス】

様々な事情で買い物に出かけることが難しい方（買い物困難者）等に対し、コンビニエンスストアやドラッグストア等と協働して移動販売車が自治会館等を訪問します。

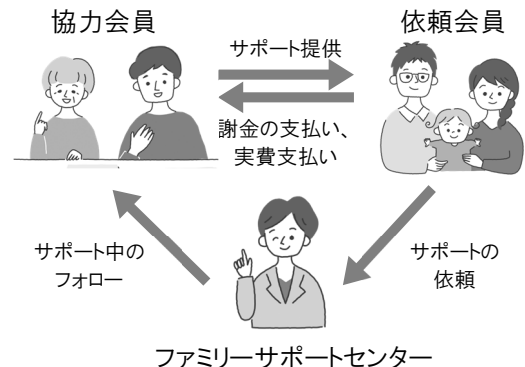
【問い合わせ先】社会福祉協議会



【ファミリーサポートセンター（子育て援助活動）】

地域住民による相互の子育て援助活動であるファミリーサポートセンター事業を通じて、安心して育児や仕事ができる環境をつくります。

【担当】こども青少年課



【有償家事援助サービス①】

家庭における「ちょっと困った」を支援するため、住民相互の助け合いの精神に基づき、日常的な家事全般を市民の参加と協力をいただき、有償でお手伝いするサービスを実施しています。

事業に興味・関心のある方に、随時、職員が説明を行った上で、ご協力いただける方に協力会員として活動していただいています。

【担当】社会福祉協議会

こんなサービスをします

- ・ 食事の支度
- ・ ゴミ出し
- ・ 部屋の掃除
- ・ 買い物
- ・ 外出時の付き添い
- ・ 洗濯・布団干し
- ・ 電球・蛍光灯等の交換
- ・ 日常生活の手続きの援助
- ・ ペットの散歩・世話

※ただし、身体に触れる行為は出来ません



【ふかやeパワー（地域新電力会社）】

ふかやeパワー株式会社（愛称：ふっかちゃんでんき）は、収益の一部を寄付するなど、地域のニーズを把握し課題を解決する市民サービスを実施しています。

【担当】環境課



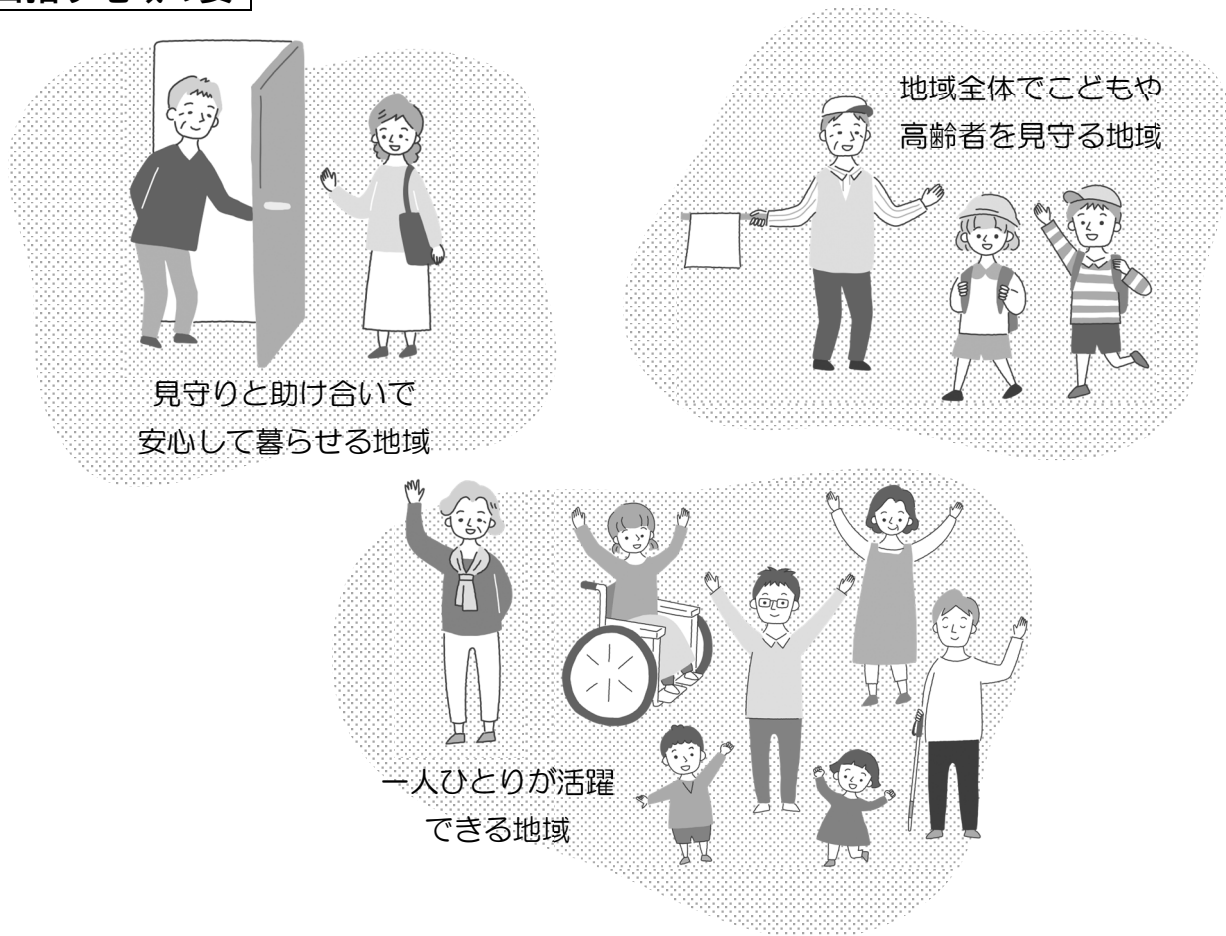
施策の方向性（２）地域における見守り・支え合い活動への支援

取り組みの方向性

地域の防犯・防災力を高めるとともに、見守りの必要な人が地域の中で安心して暮らすことができるよう、自治会や民生委員・児童委員、民間事業者等と連携した地域における見守り体制を推進します。

また、地域福祉を推進する上で重要な役割を果たしている民生委員・児童委員の活動支援や、ボランティア養成講座等を通じて地域福祉を支える人材育成を行います。

目指す地域の姿



数値目標

「地域の中に見守り等支援が必要な人や気にかかる人がいるか」に「知らない」と答えた人の割合

41.2% >> 34.2%

地域の中に見守り等支援が必要な人や、気にかかる人がいるか「知らない」と答えた市民の割合。（本計画策定のための市民アンケートより）

現状値
（令和6(2024)年度） 目標値
（令和13(2031)年度）

※地域に住む誰もがお互いに関心を持ち、「地域の中に見守り等支援が必要な人や気にかかる人がいるか」を知らない人を減らしていくことで、地域での様々な日常の見守りが期待されることから、年1%の減少を見込み目標とします。

取り組み① 住民主体の見守り活動を推進します

【安否確認事業】

一人暮らし高齢者に対し、地域の民生委員・児童委員が飲み物を配付しながら、安否確認を行っています。話し相手になったり、相談を聞いたりすることで閉じこもりやうつ予防にもつなげています。

【担当】社会福祉協議会

【登下校の見守り】

自治会、PTA、老人クラブなど地域住民が主体となって登下校時のこどもの見守り活動を行います。

【担当】自治振興課、学校教育課

【災害時等要援護者^{*用語}の見守り（地域支え合いマップ）】

高齢者や障害者などを対象に、安否確認や平常時における見守り活動を行うため、災害時等要援護者名簿の登録を推進しています。登録者の情報をもとに自治会単位で、地域支え合いマップの作成と更新を行います。

【担当】福祉政策課

取り組み②

住民主体の防犯・防災活動を推進します

【防犯パトロール】

自治会等が自主的に組織した防犯活動団体に対し、活動で使用する帽子・ベスト等の備品を支給するなど、住民主体の地域防犯活動の支援を行います。

【担当】 自治振興課



【自主防災活動】

災害時に地域の助け合いの要となる自主防災組織^{*用語}の結成に努めます。また、防災活動の支援を行うとともに、地域の防災リーダーとなる人材を育成するための講座開催や資格取得補助も行います。

地域住民は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、地域課題の把握、初期消火、救出・救護、集団避難、避難所運営、給水・給食などの訓練を通じて、地域の連携を深め、災害への備えに努めます。

【担当】 総務防災課

取り組み③

地域を支える人材を支援します

【民生委員・児童委員活動】

民生委員・児童委員は、地域福祉の中心的な担い手として、地域住民が生活上の悩みを抱え、誰かに相談したいときや、社会福祉の制度を利用したいときなどの相談に応じます。

相談者に寄り添いながら、地域と行政のつなぎ役として、必要な支援が受けられるよう関係機関につなぐ役割を担います。

令和7（2025）年4月1日現在、245名の民生委員・児童委員と、こどもや子育てに関する支援を行う20名の主任児童委員^{*用語}が市内で活動しています。

【担当】福祉政策課



【ボランティアの育成】

ボランティアに興味のある方や現在ボランティア活動をしている方に対し、ボランティアの基本やボランティアの楽しさ、専門技術の習得や向上のための様々な養成講座等を実施しています。

【担当】社会福祉協議会



紹介する取り組み

【高齢者等の見守り】

一人暮らし高齢者等を対象に、老人クラブ等の団体が、見守り活動の実施や地域の中で集いの場を開催しており、市はこれらの活動を支援しています。

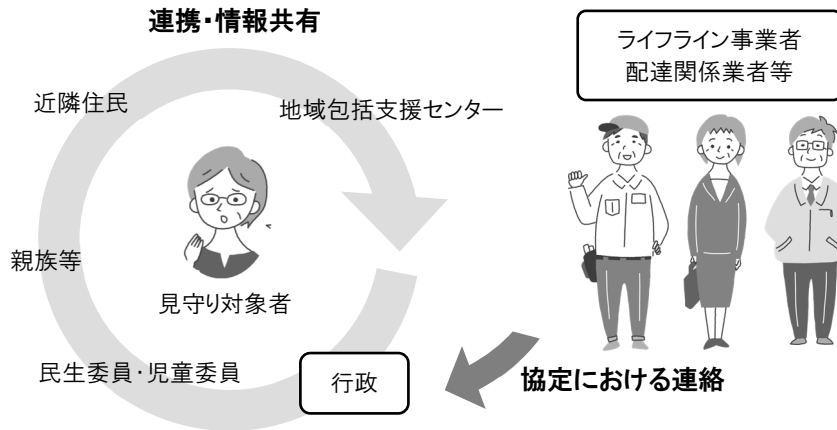
【担当】福祉政策課

【見守りネットワーク】

電力やガス、配達事業など、高齢者宅に訪問機会のある民間事業者と協定を締結し、日頃の業務の中で見守り活動に協力してもらっています。

令和7（2025）年3月現在で21の団体・事業者と協定を締結しています。

【担当】福祉政策課



【こども110番の家・車】

こどもたちが登下校時や公園・広場等で、トラブルに遭った時や巻き込まれそうになった時に、緊急避難先として駆け込める「こども110番の家」を、民家や事業所等に協力いただき設置しています。

また、「こども110番の車」のステッカーを付けた車が市内を往来することにより、こどもたちを守ります。

【担当】学校教育課



【ふかや防犯協力店・ふかや見守りカメラ】

「ふかや防犯協力店」は、犯罪などの被害に遭い、または遭いそうになり救助を求めた時の保護や、学校・家庭・警察等への連絡などを行ってもらうボランティア活動で、市内の事業所等に協力いただき、子どもや女性の安全を守っています。

また、市内の事業所等の屋外に設置している防犯カメラを、「ふかや見守りカメラ」として登録することで、安全安心な地域づくりを推進しています。

【担当】自治振興課



【アダプト制度】

公園や道路、緑地等といった公共の空間の緑化・美化・清掃活動等を市民・学校・事業者等が、市と協働して行う制度です。

また、「アダプト」とは、英語で養子縁組をするという意味で、市民・学校・事業者の皆さんを“里親”、公園や道路、緑地等の公共空間を“子ども”と見立てた制度となっています。

【担当】ガーデンシティふかや推進室



【ふかや市民大学】再掲

学習を通じて人と人をつなぎ、生涯学習やボランティア活動への理解を深めるための講座を、18歳以上の方を対象に、年間20回開催しています。

内容は郷土学／健康・医療／安全安心／現代社会／芸術／班活動など、多岐にわたります。

受講者は卒業後もボランティア活動などを通して、地域で活躍しており、特に、卒業生の多くの方が加入しているふかや市民大学校友会では、会員相互の親睦といきがいをもつ事業や市との共催事業等を行っています。

※25ページの「地域主体の健康づくり活動を推進します」の取り組みでも紹介しています。

【担当】生涯学習スポーツ振興課

【有償家事援助サービス②（フォローアップ講座）】

36 ページで紹介した有償家事援助サービスでは、資格の有無を問わず、地域住民の方が活動しています。

登録している協力会員の活動中の悩み事等の共有や、協力会員同士の意見交換の場として、フォローアップ講座を開催しています。

【担当】社会福祉協議会



その他の関連事業

【福祉避難所】

災害時に一般の避難所で生活することが困難な高齢者や障害者等のために、必要に応じて開設されるのが福祉避難所です。福祉施設を運営する社会福祉法人等と福祉避難所の協定を締結しています。

【担当】総務防災課、福祉政策課

【警察と社会福祉協議会の見守りネットワーク協定】

子どもや高齢者等の安全と安心を確保するため、警察と社会福祉協議会が相互に連携・協力し、地域の安全に関する情報提供や見守りを必要とする高齢者等の情報提供を行うための協定を締結しています。

【担当】社会福祉協議会

【認知症サポーター養成講座の開催】再掲

認知症に関する基本的な知識や対応の仕方を学び理解することで、認知症の方やその家族を地域で支える認知症サポーターを養成します。

※27 ページの「社会参加しやすい環境を整えます」の取り組みでも紹介しています。

【担当】長寿福祉課

施策の方向性（3）支え合いを行う団体の連携強化

取り組みの方向性

市民をはじめ団体、事業者、学校、行政などが連携していくための環境やしきみをつくります。また、「ボランティア・市民活動サポートセンター」の充実を図り、ボランティア・市民活動団体同士の連携を促進し、活動の場を提供します。

目指す地域の姿

ボランティア・市民活動団体が交流し、協力できる地域



市民、団体、事業者、学校、行政等が互いに協力してつくる地域



数値目標

市民協働のまちづくりが進んでいると思う市民の割合

「市内において、市民と行政が互いに力を出し合い地域を支えること（協働のまちづくり）ができている」と答えた市民の割合。

57.1%

現状値
(令和3(2021)年度)



57.7%

目標値
(令和9(2027)年度)

※この指標は第2次深谷市総合計画後期基本計画で設定された指標であるため、現状値は令和3年度の値となっており、目標値は令和9年度の値となっています。

実現するための取り組み

取り組み① 様々な主体が協働で取り組むための指針やしきみをつくります

【深谷市市民協働指針】

市民をはじめ団体、事業者、学校、行政など様々な主体が、それぞれの強みを生かしながら地域を支える、市民協働のまちづくりを推進するための推進方法や基本原則を定めた、深谷市市民協働指針に則って行政運営を行います。

【担当】協働推進課

【クラウドファンディング^{*用語}利用手数料支援】

市民活動団体等への支援メニューとして、公益的なプロジェクトに関するクラウドファンディングの利用について、手数料の一部を支援します。

【担当】協働推進課

地域活性化の企画応援

その企画 実現しませんか？

クラウドファンディング挑戦を応援します

地域の産業を活かして新商品を作りたい！

地域を盛り上げる取り組みがしたい！

手数料
最大5万円
を支援

あなたの挑戦を市も応援します！

①市のSNS等であなたの挑戦をお知らせします。

②クラウドファンディングサイト活用時にかかる手数料の一部を市で支援します。

例：100万円集めた場合

15万円	→	サイト運営会社へ	手数料として支払い
85万円	+	5万円	→ あなたの受け取り金額 深谷市より支援

紹介する取り組み

【ボランティア・市民活動サポートセンター①】

「深谷市ボランティア・市民活動サポートセンター」は、市内のNPO法人やボランティア団体、市民活動団体、新しく活動を始めたいと思っている方々の拠点です。

団体登録すれば、施設・備品を利用することができます。

【担当】社会福祉協議会



情報コーナー



ロッカー(要申請)



会議室(要予約)



印刷機・コピー機(有料)

【ボランティア団体・市民活動団体の交流】

ボランティア連絡会・市民活動サポートセンター連絡会では、それぞれ交流会や研修会を実施しています。また、合同研修会を行うなど、ボランティア・市民活動団体が一堂に会し、互いの活動状況や情報交換を行う機会を設けています。

【担当】社会福祉協議会



ボランティア連絡会交流会
(新紙幣発行記念くす玉)



市民活動サポートセンター連絡会交流会
(和菓子づくり体験会)



合同研修会(もしもの災害に備えて)



合同交流会
(渋沢栄一体操&ウクライナの方との交流)

その他の関連事業

【ボランティア・市民活動サポートセンター②】

「ボランティアだより」や「ボランティア・市民活動だより よりそい」の発行、SNSで情報発信を行っています。

【担当】社会福祉協議会

ボランティア・市民活動の情報を発信しています。

LINE



X



facebook

